

ちばの博物館

<https://www.chibahaku.skr.jp/hp/>

発行・編集
千葉県博物館協会
〒260-8682
千葉市中央区青葉町955番地
千葉県立中央博物館
TEL.043-265-3111

開館30周年を迎える県立関宿城博物館

平成7年に県立の10館目の博物館として開館した当館は、今年11月に開館30周年を迎えます。

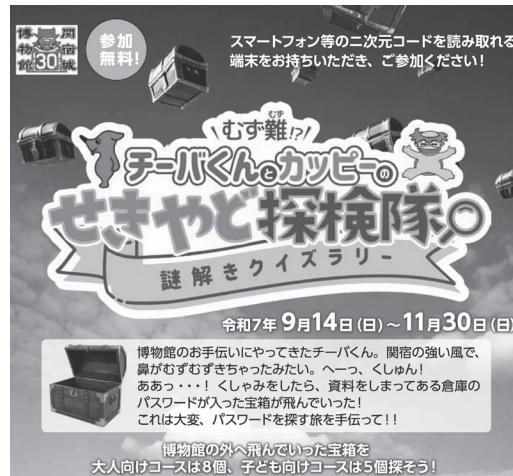
当館は、これまで「河川とそれにかかわる産業」というテーマの下、「河川改修や水運の歴史」、「流域の人々と川との関わり」、「関宿城や関宿藩の歴史」という3つを軸に、企画展示をはじめとするさまざまな博物館活動を行ってまいりました。今年度は開館30周年を迎えるにあたり、地域の皆様と連携し、現在開催中のパネル展「関宿城博物館30年の歩み」を皮切りに数多くの記念事業等をおこなう予定です。

本稿ではこの秋開催される記念事業のうち「謎解きクイズラリー」と「記念企画展」について少々詳しく紹介いたします。機会があれば足をお運びいただければと思います。

■謎解きクイズラリー「むず難!? チーバくんとカッピーのせきやど探検隊」

スマートフォンを使って博物館周辺に点在する宝箱を探し、各箱のクイズを解き進めていくことで、関宿城跡や利根川・江戸川の景観の謎について理解を深めていただこうというクイズラリー形式のイベントです。

全問正解で貰える特製バッジは、協賛する店舗での買い物や、協賛する施設の見学の際の提示で、さまざまなサービスを受けることができます。野田市や茨城県境町、坂東市などの協賛店舗の位置やクリア特典を紹介したチラシには、館周辺の史跡や文化観光施設等も掲載し、関宿周辺の周遊を促進する効果を期待しています。



▲謎解きクイズラリー



▲開館30周年記念企画展

も
く
じ

- 開館30周年を迎える県立関宿城博物館 1
- 探訪 ちばの博物館
-第6回 鎌ヶ谷市郷土資料館- 2~3
- 博物館の夏の影 4~5
- 秋から冬の催し(10月~3月) 6
- 展覧会案内 7
- 日誌抄・編集後記 8

No.153
2025.9.30

探訪

ちばの博物館

このコーナーでは、千葉県博物館協会広報委員が県博協加盟園を訪問し、展示や活動などの注目点を紹介します。今回は委員2名が鎌ヶ谷市郷土資料館を訪問しました。

鎌ヶ谷市郷土資料館は千葉県北西部、市の中心部に位置し、昭和62（1987）年に市民の教養、学術及び文化の発展に寄与することを目的に設置された。最寄り駅は京成電鉄松戸線初富駅で、徒歩約5分という便利な立地である。他の市町村の郷土資料館と同様、館内の歴史や民俗、自然などに関する資料を収集・保存し、調査・研究するとともに、展示等により広く市民の方々へ公開している。

鉄筋コンクリート2階建ての博物館は、かつての三菱銀行鎌ヶ谷支店の建物を利用していているため、少々博物館らしからぬ外観をしているが、館内に一歩足を踏み入れるとその空間は博物館そのもの。旧石器時代から近現代までの考古資料、歴史資料や民俗資料がコンパクトに展示されており見応えがある。

常設展以外の期間限定の展示会は、企画展やミニ展示等の特定のテーマに沿った展示会が2回と新収蔵品展が1回の年間合計3回を開催している。また、教育普及活動も盛んであり、外部講師を招いての連続講座である博物館セミナーや歴史講演会、自然観察会など、年間8回程度を開催している。



郷土資料館の外観

－第6回 鎌ヶ谷市郷土資料館－

千葉市立加曾利貝塚博物館 松田 光太郎（日本考古学）
千葉県立関宿城博物館 小田島 高之（地理学）

■資料から世相を読み解く（小田島）

資料館には多くの展示物が展示されていたが、それらの中で私の一番興味を惹かれた展示は常設の「学校のあゆみ」のコーナーにある「夏休みの学習帳」の展示だ。

その展示は、戦時中（昭和17年）の高等小学校1年（中学1年相当）、昭和28年頃の小学5年生、昭和34年に小学2年生の時代も学年も異なる3つの夏休みの学習帳を並べて解説したもので、それぞれ夏休みの一日の過ごし方を示すページが開かれている。

戦時中は「夏季心身鍛錬期間」として休みでさえなくなった夏休みが、戦後の復活とともにその中に“遊び”がスケジュールに組み込まれるようになり、生活が豊かになった高度成長期になると、やがて到来する受験戦争に備えて“勉強”に注力する期間となっていく、というように夏休みの一日の過ごし方から世相を読み解く、大変興味深いものだ。



昭和28年頃の小学5年生の夏休みの学習帳

■地域の特色 江戸時代の牧（松田）

資料館より徒歩約10分のところに国史跡下総小金中野牧跡がある。この中野牧は、江戸幕府が全国支配を継続する一環として、軍馬を安定的に確保するために設けた小金牧の中の一つで、慶長年間（1596～1615）に設置され、明治維新で廃止されるまで継続した。牧は谷津や土塁によって囲まれた施設で、中に馬が放し飼いにされていたが、この馬（野馬）は3歳になると捕獲された（野馬捕り）。中野牧は、野馬捕りを行う「捕込」、払い下げ前の馬を一時的に留めておく「溜込」、若い野馬を牧に戻す「払込」の3区画からなっており、今でもこの土塁を見る事ができるのがこの史跡の魅力だ。

資料館の牧のコーナーは、ジオラマや写真などを用いて牧の様子がわかりやすく展示がなされていた。また馬の大きさを来館者に説明するために実物大の馬のモデルが展示されているのは目を引いた。現代人が抱く今のイメージは体高が160～170cmある競走馬や乗馬用のサラブレッドだが、野馬は体高が110～140cmと小柄であり、この馬のモデルはそのことを



実物大の野馬のモデル

リアルに伝えてくれていた。

また資料館の展示ケース前のラックには展示の要点をまとめたB5判の解説シートや過去の企画展のパンフレットが持ち帰れるように配架されており、来館者に優しい配慮を感じた。

■郷土資料館クールシェア2025

最後に資料館で毎年行われている夏の興味深い取り組みとして「郷土資料館クールシェア」を紹介する。郷土資料館クールシェアは暑い夏の日中に、単に冷房の効いた館内で涼んでもらうだけではなく、ギャラリートークによる詳しい展示解説や懐かしの昭和歌謡のレコード鑑賞などを楽しんでいただこうという取り組みで、コロナ禍で一時中断したものの、もう9年も前の平成29（2017）年から継続して行われているとのことだった。

実は見学に伺った日はちょうど音楽鑑賞の開催日だった。知らずに館内で展示眺めていたところ、大きな音で昔の歌謡曲が流れてきて驚いたのだが、市民の方々は学芸員の方の解説とともに懐かしい歌声に熱心に耳を傾けていた。常連の来館者も少なくないよう、学芸員と市民の方々との打ち解けたようすがとても印象的だった。

鎌ヶ谷市郷土資料館

- ◆所在地／鎌ヶ谷市中央一丁目8番31号
- ◆開館時間／午前9時から午後5時まで
(最終入館午後4時45分)
- ◆休館日／毎週月曜日、国民の祝日（月曜日が祝日の場合はその翌火曜日も休館）、年末年始
- ◆入館料／無料
- ◆電話／047-445-1030

印刷物

のことならおまかせください!!

チラシ・ポスター・POP・シール・名刺・封筒・ハガキ・DM・カタログ・パンフレット・伝票etc

有限会社エーワンネットワーク
〒273-0015 船橋市日の出2-2-13 第2ナカイビル102
営業時間／9:00～18:00 定休日／日曜・祝日

TEL.047(437)6208

関東港栄株式会社
KANTO KOGYO Co.,Ltd.
Protect Cultural Assets !!

IPM理念に基づいた
保存環境の調査～提案・施工まで
文化財保存対策なら当社にお任せ下さい

各種くん蒸施工・環境調査・クリーニング・資料保存用品 ect

専用くん蒸庫完備
(各種業者対応)
28m/9m対応

〒261-0002
千葉市美浜区新港58-2
TEL 043-241-1721 FAX 043-241-0080
<http://www.kan-ko.co.jp>

屋内外広告物全般 企画・製作・施工

ステンレス・アルミ製各種看板・電飾看板
道路標識・街路表示板・観光絵看板
各種横断幕・懸垂幕・のぼり旗
プラスチック製品加工

千葉県屋外広告業登録 第202号

有限会社 大窪美術工房

〒262-0002 千葉市花見川区内山町191番地
TEL 043(257)1221㈹ FAX 043(257)1224
E-mail:art-studio.okubo@apost.plala.or.jp

博物館の夏の影

第1回 白井そろばん博物館・船橋市郷土資料館・千葉県立中央博物館

「第1回全国はしそろびっく大会！？」

—白井そろばん博物館—

あの暑い夏休みが過ぎ、令和7年度も後半に入った。千葉県博物館協会の加盟館の皆さんには、工夫をこらした夏の企画を実施された事と思う。

そこで今回は、広報委員が直接博物館にお邪魔して、どのような夏の企画を実施していたのか取材させて頂いた。

また、広報委員が勤務する博物館の実践例も紹介する。私が訪問した白井そろばん博物館（白井市）は、東日本大震災の年である2011年5月22日に開館し、今年15周年となる。一般財団法人全国珠算連盟が設立母体で、理事長の石戸謙一氏が館長を務める当館は、全国各地や海外のそろばん約2,100点をはじめ、そろばん関係資料の収集・調査研究・展示・地域貢献事業として様々なイベントを開催して、地域の交流拠点となっている。



白井そろばん博物館の外観

そんな博物館で開催している今夏の注目イベントは、「第1回全国はしそろびっく大会」を取り上げる。全国大会？はし？などネーミングにビックリしながら、最

終日である8月31日（日）に石戸館長にお話を伺った。

本大会は、7月19日（土）から8月31日（日）の休館日を除く10時～16時まで、博物館内と同時に全国の関連する珠算塾等でも実施され、個人の部と団体の部がある。

競技ルールは、50個入りのそろばん珠を10cmほど離れた左右のパックからパックへ箸で移動させるもので、1分間にいくつ動かせるかを競う。箸はマイ箸でも良く、パックを持ったり抑えたりすることはできず、1個ずつ移動させなければいけない。3回実施して一番良い数値が記録される。ちなみに私の記録は44個であった。すっかり楽しんでしまった。取材当日も親子連れが何組か体験し、賑わっていた。子どもから大人まで楽しめる体験といえる。



はしそろびっく大会の様子（8月31日）

はしそろびっく大会自体は、これまでにも千葉県大会として16回実施していたが、今年度から全国大会に昇格した。体験者数は、珠算塾の強みを活かしてトータルで約1,000名の参加があり、個人全国優勝者、各都道府県の優勝者には、なんと白井の梨（豊水）5kgをプレゼントという副賞付き。各市町村単位での順位も最終日の19時にHPで掲載し、それぞれに副賞を出す

など、再来館を促すような工夫もされている。

その他にも、博物館には「そろばん脳トレ」や「てづくりそろばん」、「そろばん博士検定試験」など、様々なアイデアを形にした、遊びながら脳を刺激する飽きない仕掛けがいっぱいの博物館であった。

芝崎 浩平（市原歴史博物館）

「こどもとすこしやすい展示室とは？」

—船橋市郷土資料館—

続いて、広報委員による工夫を紹介しよう。

筆者は、船橋市郷土資料館（船橋市）において、企画展「船橋のこどもたち」（会期：7月19日～9月15日）を主担当者として企画した。

展示で一番「攻めた」部分は、決して広いとはいえない展示室に、「こどもたちとすこしやすくなる」というゾーンを設け、その中に、靴を脱いでこどもが絵本や玩具などを手に取れる空間を作ったことだ。



特別支援学校から借用した教材・教具に取り組む2人の男児。両親と一緒に来た1人と祖母と一緒に来たもう1人は初対面。

展示ケースを減らしてもこの空間を作りたかった理由は、子連れだと博物館に行きづらいという声を聞くことが多々あり、私自身も、子連れでの博物館見学の際の難しさを感じたり、スタッフから過度に感じる

声掛けを受けたりした経験があるからだ。

会期序盤は、この空間に慣れすぎてお菓子を食べ始めようとするリピーターの小学生や、お手玉で息子たちとキャッチボールをするパパとママに注意することもあった。とはいえ、予想以上に好評で、来館者が展示室にいる時間は過去の企画展より長かったように思う。また、広くない展示室なので、展示ケースの資料について話す学芸員やボランティアの説明が聞こえることもあったはずだ。

企画展のテーマはさまざまなので、このような空間の常設は難しいが、どうすれば船橋市郷土資料館をこどもが、あるいはこどもと過ごしやすい博物館にできるか。今後も、試行錯誤していきたい。

小田 真裕（船橋市郷土資料館）

「相談しやすい博物館へ」

—千葉県立中央博物館—

当館では、毎年夏休みに子どもたちの学びを応援する取り組みとして「夏休み自由研究相談」を実施している。今年はより多くの子どもたちに参加してもらうため、千葉市内の小中学校にチラシを配布し、広く周知を行った。その結果、合計113件239人の参加があり、例年にも増してにぎわいを見せた。相談日には、小学生から中学生まで幅広い世代が来館し、それぞれのテーマや疑問に応じて学芸員が一人ひとりに丁寧に助言を行った。「観察記録をどう整理するか」「発表資料をどう工夫するか」といった具体的な質問に答えることで、子どもたちが自信を持って研究を進められるよう支援した。相談内容は動物や植物、地学、歴史など多岐にわたり、専門的な知識を活かした対応により、子どもたちの関心をさらに深めることができた。また、相談をきっかけに研究の楽しさを再発見し、自ら新しい問いを立てる姿も見られた。自由研究は、子どもたちが主体的に学びを深める大切な機会である。今後も気軽に相談できる博物館として、地域の子どもたちの学びを支えていきたい。

樽 宗一朗（千葉県立中央博物館）

秋から冬の催し（10月～3月）

詳細は直接館にお問い合わせください。

| 館園名・行事の種類 | 行 事 名 | 開催期間・期日 | 館園名・行事の種類 | 行 事 名 | 開催期間・期日 |
|--|---|--|--|------------------|---------|
| ●いすみ市郷土資料館 | TEL 0470-86-3708 | | ●千葉市科学館 | TEL 043-308-0511 | |
| 展覧会 企画展「上総氏と南總天台の仏像」 | 10月1日～11月30日 | その他イベント等 千葉市科学フェスタ2025 | 10月11日～11月12日 | | |
| 展覧会 企画展「狩野派絵画展」 | 1月6日～4月12日 | 展覧会 秋の企画展「え！びっくり！こんなに見えちゃうの？～虫眼鏡から電顛まで～」 | 10月25日～11月16日 | | |
| ●市原湖畔美術館 | TEL 0436-98-1525 | その他イベント等 第27回火星ローバーコンテストin千葉 | 12月6日 | | |
| 展覧会 「市原湖畔美術館〈Re-collection〉展」 | 10月11日～11月16日 | | | | |
| 展覧会 「第13回市原湖畔美術館子ども絵画展」 | 11月29日～12月28日 | | | | |
| ●市原歴史博物館 | TEL 0436-41-9344 | | ●千葉市美術館 | TEL 043-221-2311 | |
| 展覧会 特別展「うまれかわりの旅ーいもはらと出羽三山信仰ー」 | 10月11日～12月14日 | 展覧会 「つくりかけラボ19 小森はるか+瀬尾夏美へびと地層」 | 10月11日～1月25日 | | |
| その他イベント等 実演展示「知られざる出羽三山信仰の世界」 | 11月23日 | 展覧会 企画展「開館30周年・千葉開府900年記念千葉美術散歩」 | 11月1日～1月8日 | | |
| 講演会 特別講演会「なぜ出羽三山を目指すのか」 | 12月7日 | 展覧会 企画展「開館30周年記念ロードアーランド・スクールオブ・デザイン所蔵 ロックフェラー・コレクション 花鳥版画展 北斎、広重を中心に」 | 1月17日～3月1日 | | |
| ●伊能忠敬記念館 | TEL 0478-54-1118 | | ●千葉市立加曾利貝塚博物館 | TEL 043-231-0129 | |
| 展覧会 特別展「伊能忠敬生誕280周年記念『友トシテ善シ忠敬と清潤』」 | 11月18日～1月18日 | 展覧会 企画展「加曾利B式展」 | 10月15日～3月1日 | | |
| ●浦安市郷土博物館 | TEL 047-305-4300 | その他イベント等 繩文秋まつり | 10月25日～10月26日 | | |
| 展覧会 企画展「ふるさと浦安作品展」 | 9月27日～11月1日 | 講演会 特別研究講座「縄文人と丸木舟—加曾利貝塚にはあったか？」(会場:千葉市生涯学習センター) | 11月23日 | | |
| 展覧会 企画展「浦安の海苔養殖」 | 1月4日～3月1日 | | | | |
| ●大原幽学記念館 | TEL 0479-68-4933 | | ●千葉市立郷土博物館 | TEL 043-222-8231 | |
| 展覧会 企画展「くらしの中の昔道具～五感で感じる涼の工夫～」 | 開催中～11月9日 | 展覧会 「千葉氏と城館ー住まう・治める・戦うー」 | 1月23日～3月8日 | | |
| ●鎌ヶ谷市郷土資料館 | TEL 047-445-1030 | | ●成田山書道美術館 | TEL 0476-24-0774 | |
| 展覧会 令和7年度 新資料展「新発見!鎌ヶ谷のたからもの～文化財に親しもう～」 | 10月25日～1月25日 | 展覧会 「書の公募展100年」 | 10月21日～12月14日 | | |
| 展覧会 第31回ミニ展示「交差するまちへ2」(仮称) | 3月21日～5月24日 | 展覧会 新春特別展「成田山の山水花鳥」 | 1月1日～2月15日 | | |
| ●鶴川シーワールド | TEL 04-7093-4803 | 展覧会 収蔵優品展「歴後50年赤羽雲庭」 | 2月21日～4月19日 | | |
| 講演会・講座等 動物友の会月例会 | 10月18日・10月25日・11月22日・11月29日・12月13日・12月20日・1月24日・1月31日・2月21日・2月28日・3月14日・3月20日 | | | | |
| 講演会・講座等 ウィンタースクール | 12月25日～29日・1月3日～4日 | ●成田山靈光館 | TEL 0476-22-0234 | | |
| その他イベント等 鴨川市民DAY | 2月11日(予定) | 展覧会 企画展「成田山の講」 | 9月13日～12月7日 | | |
| ●鴨川市郷土資料館 | TEL 04-7093-3800 | | ●成田市下総歴史民俗資料館 | TEL 0476-96-0080 | |
| 展覧会 「安房鴨川駅開業100年 街の発展を見守る終着駅」 | 8月23日～10月19日 | 展覧会 「青柳家・旧滑川郵便局資料のミニ展示～旧下総町の村絵図・古地図～」 | 10月1日～10月31日 | | |
| | | 展覧会 「青柳家・旧滑川郵便局資料のミニ展示～大正から昭和期の広告・包装紙・パンフレット、成田鉄道(株)の広告郵便資料～」 | 11月1日～11月30日 | | |
| ●木更津市郷土博物館金のすず | TEL 0438-23-0011 | 展覧会 「青柳家・旧滑川郵便局資料のミニ展示～旧滑川郵便資料～」 | 1月4日～未定 | | |
| 展覧会 特別展「YAYOIの木更津」 | 10月25日～12月7日 | | | | |
| ●君津市立久留里城址資料館 | TEL 0439-27-3478 | | ●成田羊羹資料館 | TEL 0476-22-2266 | |
| 展覧会 没後300年記念 新井白石一人と資料の出会いの百花繚乱 | 10月25日～12月7日 | 展覧会 第43回企画展「江戸時代の和菓子展」 | 10月1日～3月31日 | | |
| ●航空科学博物館 | TEL 0479-78-0557 | | ●鋸山美術館 | TEL 0439-69-8111 | |
| 展覧会 「航空キッズアート展」 | 11月1日～11月30日 | 展覧会 「八犬伝プロジェクト～南総里見八犬伝～宮田雅之と辻村寿三郎」 | 9月28日～12月25日 | | |
| その他イベント等 クリスマスコンサート | 12月21日 | | | | |
| その他イベント等 春の航空ジャンク市 | 3月7日・3月8日 | | ●野田市郷土博物館 | TEL 04-7124-6851 | |
| ●国立歴史民俗博物館 | TEL 043-486-0123 | | 展覧会 野田市制施行75周年記念・令和7年度特別展「野田の浅間様～石に刻まれた富士山への祈り～」 | 10月11日～12月15日 | |
| 展覧会 企画展示「野村正治郎とジャポニスムの時代～着物を世界に広げた人物」 | 10月28日～12月21日 | 講演会・講座等 令和7年度特別展関連事業・特別展講演会～第1弾～「野田市の富士信仰を追って」(講師:石田隼人氏／野田市文化財保護審議委員・日本石仏協会理事) | 10月19日 13時30分～15時30分 | | |
| 展覧会 第3展示室特集展示「野村正治郎の後継者～賤男の活動」 | 10月28日～12月21日 | 講演会・講座等 令和7年度特別展関連事業・特別展講演会～第2弾～「富士信仰概説」(講師:大谷正幸氏／富士信仰研究者) | 12月7日 13時30分～15時30分 | | |
| ●山武市歴史民俗資料館 | TEL 0475-82-2842 | | | | |
| 展覧会 令和7年度企画展「太平洋戦争終結80年展II『石と心に刻まれた戦争の記憶』～忠魂碑と従軍体験～」 | 10月5日～5月10日 | ●菱川師宣記念館 | TEL 0470-55-4061 | | |
| 講演会・講座等 もっと知りたいさんむの魅力講座 | 第17回「戦史研究最前線」10月19日 | 展覧会 「生命的のしらべ 田辺知治展」 | 10月7日～12月7日 | | |
| ●城西国際大学水田美術館 | TEL 0475-53-2562 | | ●ふなばしアンデルセン公園子ども美術館 | TEL 047-457-6661 | |
| 展覧会 「高森碎巖-長南に生まれた最後の南画家-」 | 9月30日～10月25日 | その他イベント等 第54回船橋地区アマチュア人形劇フェスティバル | 10月5日 | | |
| 展覧会 「鳥屋重三郎と版元たち」(仮称) | 11月25日～12月13日 | その他イベント等 自然とあそぼう！「くんせい・キッキン」 | 11月16日 | | |
| ●袖ヶ浦市郷土博物館 | TEL 0438-63-0811 | その他イベント等 新春のおもてなし | 1月18日 | | |
| 展覧会 企画展II「鳥をめぐるものがたり」 | 10月4日～12月14日 | | | | |
| 展覧会 企画展III「袖ヶ浦の美術Ⅲ 飯塚勝康展」(仮称) | 3月20日～4月12日(予定) | ●船橋市郷土資料館 | TEL 047-465-9680 | | |
| ●館山市立博物館 | TEL 0470-23-5212 | | 展覧会 企画展「昭和100年 写真と映像で見る船橋の昭和」 | 11月15日～12月28日 | |
| 展覧会 戦後80年企画展「東京湾要塞と館山」 | 開催中～10月19日 | 講演会・講座等 文化講演会「文芸作品から読み解く近世の家族観」(講師:中臺希実氏／共催・会場:葉円台公民館) | 11月16日 | | |
| 展覧会 新収蔵資料展「あたらしい資料のご紹介」 | 12月6日～2月8日 | 展覧会 企画展「くらしの道具展」 | 1月17日～3月22日(予定) | | |
| 展覧会 収蔵資料展「江戸時代の村と町」 | 2月21日～4月12日 | | | | |
| ●千葉経済大学地域経済博博物館 | TEL 043-253-9843 | | ●松山庭園美術館 | TEL 0479-79-0091 | |
| 展覧会 特別展「房総の幕末維新」 | 11月15日～1月30日 | | 展覧会 「コノキ・ミクオの新作絵画&ガング彫刻展」 | 10月10日～12月7日 | |
| ●千葉県立現代産業科学館 | TEL 047-379-2000 | | 展覧会 「第10回 現代アート実験02展」 | 12月12日～1月12日 | |
| 展覧会 企画展「うみ・千葉めぐり～魅力あふれる海の仕事～」 | 10月11日～11月30日 | 展覧会 「第27回 煙めぐラス絵展」 | 1月16日～2月15日 | | |
| ●千葉県立関宿城博物館 | TEL 04-7196-1400 | | ●睦沢町立歴史民俗資料館 | TEL 0475-44-0290 | |
| その他イベント等 開館30周年記念 謎解きクイズラリー「チーバくんとカッピーのせきやど探検隊」 | 9月14日～11月30日 | 展覧会 特別展「画家下川吉博」 | 1月末～3月 | | |
| 展覧会 開館30周年記念 企画展「関宿城に舞う鷹の羽～下総久世家～」 | 10月4日～11月30日 | | | | |
| 展覧会 「昔のくらし展」 | 1月20日～4月19日 | ●茂原市立美術館・郷土資料館 | TEL 0475-26-2131 | | |
| ●千葉県立中央博物館 | TEL 043-265-3111 | | 展覧会 美術収蔵品展「王子江 雄原大地展(全部展示)」 | 12月6日～12月23日 | |
| 展覧会 トピックス展「利根川の高瀬船」 | 10月11日～12月7日 | 展覧会 美術収蔵品展「芝原人形と絵画展」 | 1月26日～3月15日 | | |
| 展覧会 秋の展示「水辺の昆虫」 | 10月11日～12月21日 | 展覧会 美術収蔵品展「花の絵画と書道展」 | 2月17日～3月22日 | | |
| 展覧会 マリンサイエンスギャラリー「うみ・鳥づぶ2 海鳥と旅する食物連鎖の世界」 | 12月13日～5月10日 | | | | |
| ●千葉県立房総のむら | TEL 0476-95-3333 | | ●八街市郷土資料館 | TEL 043-443-1726 | |
| 展覧会 屋外展示「千葉の民俗芸能」 | 10月18日～11月24日 | | 展覧会 企画展「戦争と八街～戦後80年 戦争の記録」 | 10月28日～12月21日 | |
| 展覧会 企画展「房総の海辺のムラー漁撈から見た人々のくらし」 | 12月6日～2月1日 | 講演会・講座等 石器作り講座「ナifers形石器を作ろう」 | 11月15日 | | |
| 講演会・講座等 考古学講座「国造制と房総の豪族」 | 2月22日 | 講演会・講座等 「古文書講座～八街の歴史を読み解こう」(仮称) | 入門編(全3回)12月10日-12月17日-12月24日、初級編(全3回)3月11日-3月18日-3月25日 | | |
| ●八千代市立郷土博物館 | TEL 047-484-9011 | | | | |
| 講演会・講座等 古文書講座 | | | ●八千代市立郷土博物館 | TEL 047-371-2494 | |
| 入門編(くずし字) 10月5日-10月19日、初級編 11月16日-12月14日、中級編 1月25日 | | | 展覧会 令和7年度秋の企画展「人生をいろいろ装い」 | 9月24日～11月13日 | |
| 講演会・講座等 やち博講座 第3回 11月30日、第4回 2月15日 | | | 展覧会 美術部作品展「色祭」 | 12月1日～1月30日 | |
| 展覧会 「くらしのうつりかわり展」 | 12月13日～2月15日 | | 展覧会 「2025年度博物館学芸員課程『学生展』」 | 12月8日～1月29日 | |
| ●和洋女子大学文化資料館 | TEL 047-371-2494 | | | | |
| 展覧会 令和7年度秋の企画展「人生をいろいろ装い」 | 9月24日～11月13日 | | | | |
| 展覧会 美術部作品展「色祭」 | 12月1日～1月30日 | | | | |
| 展覧会 「2025年度博物館学芸員課程『学生展』」 | 12月8日～1月29日 | | | | |

* 展覧会案内 *

千葉市立加曽利貝塚博物館

令和7年度企画展 加曽利B式展(千葉市編) —加曽利の名を持つもうひとつの土器—

大正13年、加曽利貝塚の発掘調査ではじめて命名された「加曽利B式土器」は、その後、関東の縄文時代後期を代表する土器型式として認識されています。

本企画展では、加曽利貝塚および千葉市内の遺跡から見つかった加曽利B式土器を中心に展示し、当時の遺物や遺跡の姿を紹介します。



加曽利貝塚出土 加曽利 B 式土器
左：異形台付土器 右：深鉢形土器

<会期>10月15日(水)～3月1日(日)

<休館日>月曜日(休日の場合は翌平日)

および年末年始12月29日～1月3日

<料金>無料

木更津市郷土博物館金のすず

令和7年度特別展 YAYOIの木更津

弥生時代は、環濠集落の形成や稻作農耕の波及があった時代です。木更津市内では、弥生時代中期以降の遺跡として、住居・墓・水田などが発見されています。

本展では、次の4つのテーマに沿って、主に市内の弥生時代の遺跡を見ていきます。

- ①住む(家)
- ②葬る(墓)
- ③栽培する(農耕)
- ④つながる(他地域との関係)

併せて、令和四年八月に木更津市指定文化財に指定した「中越遺跡出土小銅鐸 附石製舌」を紹介します。



中越遺跡小銅鐸

<会期>10月25日(土)～12月7日(日)

<休館日>月曜日(休日の場合は翌平日)

<入館料>一般300円(200円)

※()内は20名以上の団体料金、きさらづ市民カレッジ(地元学コース)受講者

※未就学児、学生、65歳以上、障害のある方と介助者1名は無料

※11月3日(月・祝)はどなたでも無料

市原歴史博物館 特別展

うまれかわりの旅 —いちはらと出羽三山信仰—

県内でも出羽三山信仰が盛んな地域として知られる市原市。

本特別展では、本市の県内最古となる寛永7年(1630)銘の石碑をはじめ、多くの信仰の足跡が残っていることから、その歴史を振り返り、人びとはなぜ出羽三山を目指すのか、今につながる地域社会にどのように影響してきたのかを考え、本市における出羽三山信仰をひもときます。

<会期>10月11日(土)～12月14日(日)

<休館日>月曜日(休日の場合は翌平日)

<料金>一般600円(団体500円) 高校生500円(団体400円)

小中学生以下無料 ※常設展示観覧料を含む



三山講行人奉納大絵馬
(分目 雷神社所蔵)

国立歴史民俗博物館 企画展示

野村正治郎とジャポニスムの時代

—着物を世界に広げた人物

歴博を代表する収蔵品の一つである「野村正治郎衣裳コレクション」を通じ、野村正治郎(1880-1943)の人物像を紹介する企画展示。美術商として着物の美を国外に伝えたさまや、コレクターとして国内で着物の重要性を啓発する役割を果たした様子についてひもといいていく。

酒井抱一筆「梅樹下草模様小袖」など重要文化財3点を含む総展示数140点(一部展示替えあり)。

約100年ぶりに公開される着物や、正治郎が着物保存のため制作した時代小袖雛形屏風なども展示する。

重要文化財 梅樹下草模様小袖
酒井抱一筆 国立歴史民俗博物館蔵
野村正治郎衣裳コレクション

<会場>企画展示室 A・B

<会期>10月28日(火)～12月21日(日) 前期:10月28日(火)～11月24日(月・祝)、後期:11月26日(水)～12月21日(日)

<休館日>月曜日(休日の場合は翌平日)

<料金>一般1000円(800円)／大学生500円(400円)

※()は20名以上の団体料金、高校生以下は入館無料、障がい者手帳等保持者は手帳等の提示により、介助者と共に入館無料。

日誌抄

事務局

■令和6年度第3回役員会

令和7年4月25日（金）10時30分～12時
会場／千葉県立中央博物館

内容／令和7年度千葉県博物館協会総会について

■令和7年度総会

令和7年5月22日（木）13時30分～16時30分
会場／千葉県立中央博物館
内容／①ミニ研修会「博物館資料の保存環境管理とIPMの実践」
②令和6年度事業報告・一般会計収支決算報告・基金収支決算報告について
③令和7年度事業計画（案）・一般会計収支予算（案）・基金収支予算（案）について

調査研究委員会

■第1回委員会

令和7年5月22日（木）10時～12時
会場／千葉県立中央博物館
内容／令和7年度事業計画について

■第2回委員会

令和7年6月18日（水）10時～12時
会場／千葉県立中央博物館
内容／令和7年度事業計画について

■視察

令和7年7月31日（木）13時30分～15時30分
会場／市立市川自然博物館
内容／令和7年度事業計画について

■第3回委員会

令和7年9月26日（金）10時～12時
会場／鎌ヶ谷市郷土資料館
内容／MUSEUMちば49号の原稿作成について

地域振興委員会

なし

研修委員会

■第1回委員会

令和7年7月25日（金）9時30分～
会場／千葉県立美術館
内容／令和7年度事業計画について

■第2回委員会

令和7年9月26日（金）10時～
会場／千葉県立美術館
内容／令和7年度事業計画について

広報委員会

■第1回委員会

令和7年7月30日（水）10時～12時
会場／千葉県立中央博物館
内容／令和7年度活動計画について

■第2回委員会

令和7年9月3日（水）10時～12時
会場／オンライン
内容／「ちばの博物館」No.153の編集について

編集後記

広報委員会では、本号の「県内トピックス」で何を取り上げようかと議論し、県博協加盟館園の夏休みの工夫を紹介することに決めました。この新たな試みは、いかがでしたか？

酷暑が当たり前になってしまった千葉県の夏。県民の皆さんも予定を立てる時の選択肢に、「ちばの博物館」が浮かんでくると良いですね。本誌に載せた情報が、各加盟館園の魅力を増す一助になれば、とても嬉しいです。

（小田）

令和7年度千葉県博物館協会広報委員会

理事 小笠原 勝海（市立市川考古博物館）

理事 金子 俊（船橋市郷土資料館）

委員 松田 光太郎（千葉市立加曽利貝塚博物館）

委員 小田 真裕（船橋市郷土資料館）

委員 樽 宗一朗（千葉県立中央博物館）

委員 芝崎 浩平（市原歴史博物館）

委員 小田島 高之（千葉県立関宿城博物館）